

この東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた多くの方々には、心からお悔やみ申し上げます。また、いまだに安否確認がとれていないの方々には、一刻も早く安否の確認がとれますことをお祈り申し上げます。そして、被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

津波により「まち」ひとつが飲み込まれ、壊滅的打撃を受けた状態、さらに原子力発電所の異常が発生するなど、地震による被害がさらに拡大しております。このような中、政府が中心となって対応しているところですが、日本国内からの応援、府においても、既に、大阪府警の緊急援助隊、緊急消防隊、給水車、災害派遣医療チーム、ドクターヘリなどが支援活動のため現地入りをしております。

そして、現時点では70ヶ国以上の海外からの救助隊、医療などの支援の動きもあります。これらの機関が連携して、いち早く、被災者の支援、被災地の復興ができるよう願うとともに、私も支援、協力していきたいと思っております。

未曾有の悲惨な大災害から、はからずも、私たちは学ばねばならないことがあります。平時からの危機管理の重要性。大規模災害に強い「まちづくり」という都市計画の大切さ。そして、最も重要なのは、助け合い、献身しあう心の「人と人の絆（きずな）」に支えられた共生の社会を創りださねばならないことです。それが私を含め、政治家に課せられた使命と責任です。この役割を担うべく頑張ります。

大阪府議会議員 西川ひろき